

コミュニティバス「汐入さくら」の廃止について

1 理由

本年4月の自動車運転手の労働時間等の基準改正は、バス業界全体に大きな影響をもたらし、各社、運転手確保への対応を余儀なくされ、路線バスにおいては大幅減便や路線廃止をせざるを得ない状況となり、当区のコミュニティバス「さくら」・「汐入さくら」においても、本年3月から大幅に減便した。

こうした厳しい状況の中、現在運行している「さくら」・「汐入さくら」については、減便後も1便当たりの乗車人数の大きな改善は見られず、運行経費に合うだけの乗車人数に達しない状況が続いている。

このため、「汐入さくら」については、ほぼ同じ路線に代替の交通手段となり得る都営バスが運行（別紙1参照）しており、利用者への影響を最小限に留められると考え、廃止する。

2 変更日 令和7年3月31日（月）

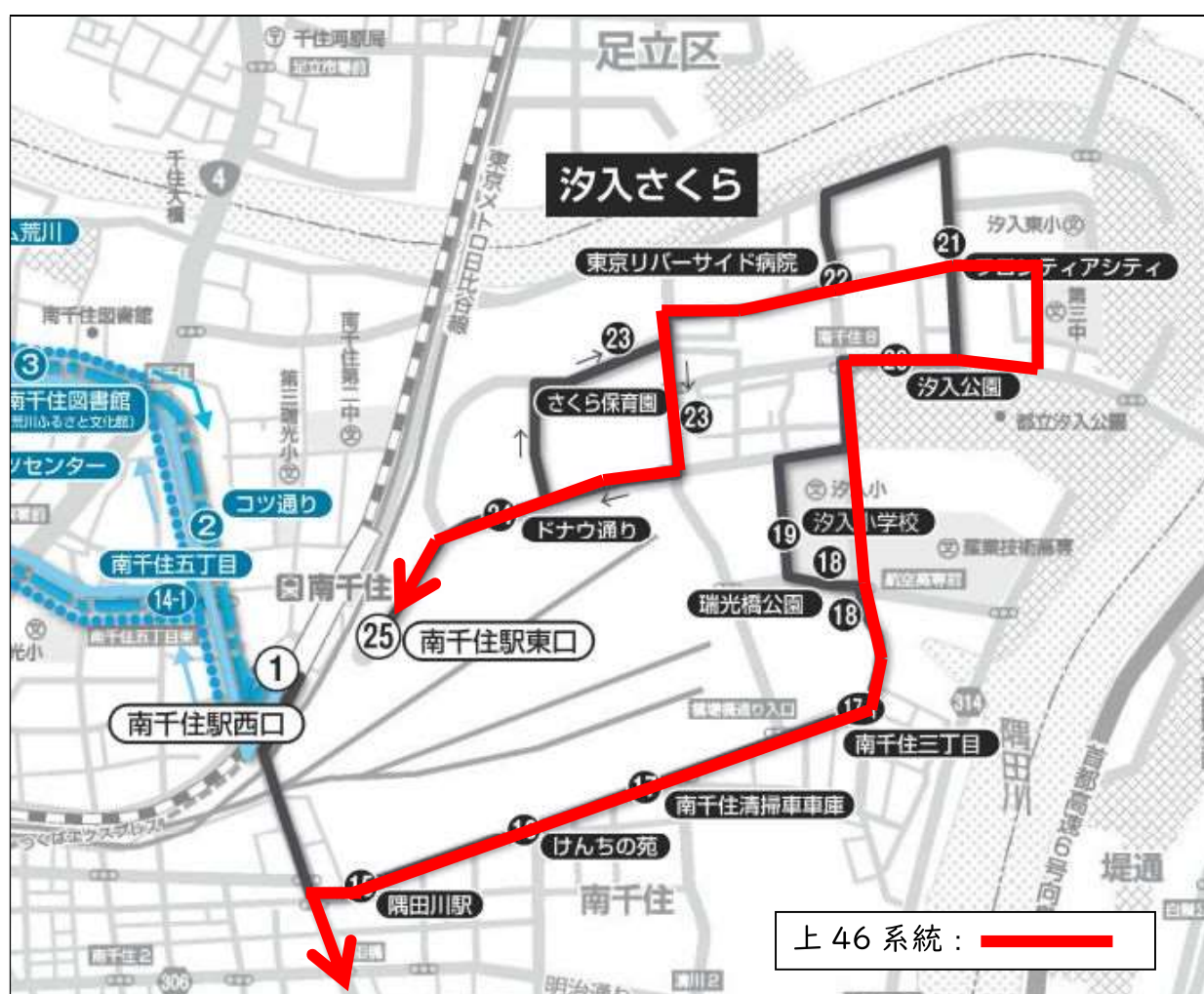
3 参考（これまでの経緯）

平成17年 4月	さくら（左回り）運行開始（58 便/日）
平成19年12月	さくら（シャトル便※後の右回り）運行開始（12 便/日）
平成20年10月	さくら（左回り）減便（58 便/日⇒56 便/日）
	汐入さくら運行開始（102 便/日）
平成27年 3月	さくら（左回り）減便（56 便⇒47 便/日）
	さくら（右回り）増便（12 便/日⇒29 便/日）
	汐入さくら中型化に伴い減便（102 便/日⇒90 便）
令和 元年10月	消費税改定に伴う運賃改定（150 円⇒160 円）
令和 2年 6月	汐入さくら減便（90 便/日⇒74 便/日）
令和 3年 4月	さくら（左回り）減便（47 便/日⇒31 便/日）
	さくら（右回り）減便（29 便/日⇒22 便/日）
令和 5年 3月	燃料費等の高騰に伴う運賃改定（160 円⇒180 円）
令和 6年 3月	さくら（左回り）減便（31 便/日⇒22 便/日）
	さくら（右回り）減便（22 便/日⇒6 便/日）
	汐入さくら（減便）（74 便/日⇒55 便/日）

「汐入さくら」と路線が重複する主な都営バスの状況

【都バス】上46系統(南千住駅東口⇄上野松坂屋前)

路線	平日	土曜日	日曜日・祝日
南千住東口発	61 本	68 本	66 本
上野松坂屋発	65 本	67 本	66 本



(至 上野松坂屋前)

汐入地域における路線バスの変遷

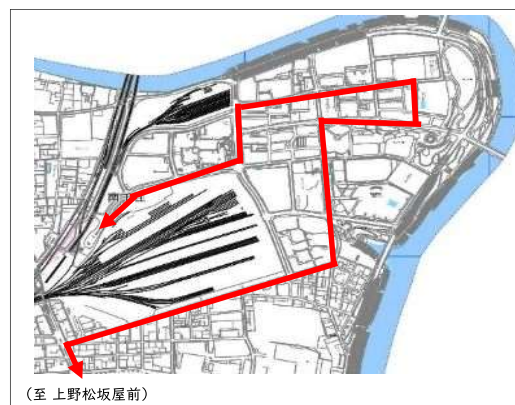
①再開発前

既に都営バスが運行しており、現「隅田川駅」停留所が「南千住駅入口」停留所であった。



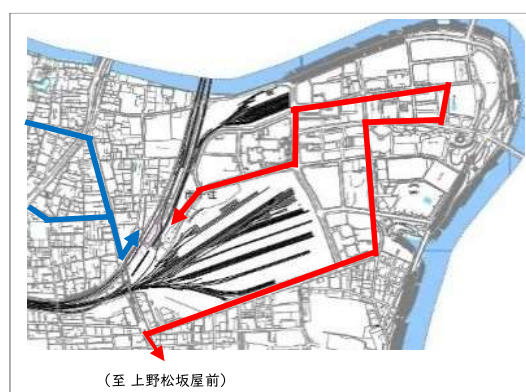
②平成14年4月

ドナウ広場の完成にあわせて、都営バスが南千住駅東口に乗り入れ開始



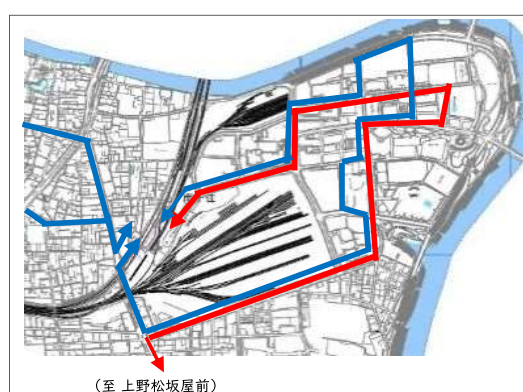
③平成17年4月

コミュニティバス「さくら」が運行を開始、汐入地域から区役所方面に乗り継ぎが可能となる。



④平成20年10月～

コミュニティバス「汐入さくら」が運行開始、南千住駅西口で「さくら」との乗り継ぎが可能となり、一部、直通便も運行開始

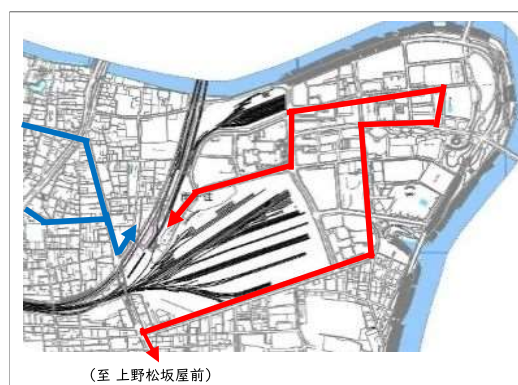


⑤平成24年2月

「荒川区地域公共交通会議」の設置

⑦令和7年4月

「汐入さくら」廃止予定



⑥平成27年3月

「汐入さくら」の車両中型化により区役所方面への直通便の廃止

凡例

—	： 都営バス
—	： コミュニティバス